

第3 道税の状況

1 平成29年度当初予算の状況

平成29年度の道税予算額は、地方財政計画、地方税法改正の動向、本道の課税実績の推移等を勘案して6,058億3千6百万円を見込みました。

この内訳は、第44表のとおりです。この額は前年度の当初予算額と比較すると、0.9%の増となっています。

2 平成28年度下半期の状況

平成28年度の道税予算額は、当初6,002億9千8百万円でしたが、その後21億9千4百万円を増額補正したので、最終予算額は6,024億9千2百万円となっています。

なお、平成29年3月31日現在の道税の収入状況は、第45表のとおりです。

第44表 平成29年度当初予算の状況

(単位 千円)

区 分	平成29年度 当初予算額 (A)	平成28年度 当初予算額 (B)	平成28年度 最終予算額 (C)	比 較			
				(A-B)	(A/B)	(A-C)	(A/C)
					%		%
個人道民税	168,716,686	168,908,615	166,342,615	△ 191,929	99.9	2,374,071	101.4
法人道民税	19,151,021	17,560,021	19,151,021	1,591,000	109.1	0	100.0
道民税利子割	1,237,162	971,697	1,281,697	265,465	127.3	△ 44,535	96.5
個人事業税	4,617,790	4,506,921	4,506,921	110,869	102.5	110,869	102.5
法人事業税	116,682,915	109,518,557	111,445,557	7,164,358	106.5	5,237,358	104.7
地方消費税	128,328,336	136,045,161	131,746,161	△ 7,716,825	94.3	△ 3,417,825	97.4
不動産取得税	15,642,725	14,345,229	15,443,229	1,297,496	109.0	199,496	101.3
道たばこ税	7,483,047	7,791,136	7,663,136	△ 308,089	96.0	△ 180,089	97.6
ゴルフ場利用税	1,666,443	1,720,991	1,611,991	△ 54,548	96.8	54,452	103.4
自動車取得税	7,695,797	6,507,429	7,103,429	1,188,368	118.3	592,368	108.3
軽油引取税	55,480,860	54,482,311	57,217,311	998,549	101.8	△ 1,736,451	97.0
自動車税	76,561,357	75,326,723	76,260,723	1,234,634	101.6	300,634	100.4
鉦区税	35,911	29,381	29,381	6,530	122.2	6,530	122.2
道固定資産税	779,605	816,205	921,205	△ 36,600	95.5	△ 141,600	84.6
狩猟税	52,898	53,781	53,781	△ 883	98.4	△ 883	98.4
核燃料税	899,960	899,960	899,960	0	100.0	0	100.0
循環資源利用促進税	803,299	813,970	813,970	△ 10,671	98.7	△ 10,671	98.7
計	605,835,812	600,298,088	602,492,088	5,537,724	100.9	3,343,724	100.6

第45表 道税の収入状況（3月31日現在）

（単位 千円）

税 目	平成28年度					平成27年度				
	最終予算額	調定済額	収入済額	比較	収入率	最終予算額	調定済額	収入済額	比較	収入率
	(A)	(B)	(C)	(C/A)	(C/B)	(D)	(E)	(F)	(F/D)	(F/E)
				%	%				%	%
個人道民税	166,342,615	172,581,349	146,587,336	88.1	84.9	165,214,172	172,639,051	145,986,709	88.4	84.6
法人道民税	19,151,021	19,060,139	18,687,343	97.6	98.0	20,452,621	20,963,402	20,616,892	100.8	98.3
道民税利子割	1,281,697	1,340,740	1,340,740	104.6	100.0	1,912,467	1,918,728	1,918,728	100.3	100.0
個人事業税	4,506,921	4,861,045	4,541,349	100.8	93.4	4,375,553	4,627,876	4,349,613	99.4	94.0
法人事業税	111,445,557	110,837,088	110,127,668	98.8	99.4	89,420,483	91,717,898	90,815,177	101.6	99.0
地方消費税	131,746,161	132,870,522	132,870,522	100.9	100.0	139,033,224	139,647,376	139,647,376	100.4	100.0
不動産取得税	15,443,229	16,900,688	15,089,259	97.7	89.3	14,943,415	16,306,714	14,136,688	94.6	86.7
道たばこ税	7,663,136	7,640,850	7,640,694	99.7	100.0	7,871,985	7,847,607	7,847,351	99.7	100.0
ゴルフ場利用税	1,611,991	1,612,115	1,607,329	99.7	99.7	1,701,507	1,738,828	1,732,730	101.8	99.6
自動車取得税	7,103,429	7,373,599	7,195,812	101.3	97.6	6,496,777	6,528,526	6,269,858	96.5	96.0
軽油引取税	57,217,311	59,198,433	48,244,787	84.3	81.5	55,804,607	57,403,060	46,429,814	83.2	80.9
自動車税	76,260,723	77,740,598	76,142,994	99.8	97.9	76,616,911	78,330,271	76,458,094	99.8	97.6
鉦区税	29,381	32,936	31,443	107.0	95.5	28,657	29,977	28,944	101.0	96.6
道固定資産税	921,205	921,106	921,106	100.0	100.0	959,883	960,263	960,263	100.0	100.0
狩猟税	53,781	52,393	52,393	97.4	100.0	91,599	55,782	55,782	60.9	100.0
核燃料税	899,960	899,960	899,960	100.0	100.0	899,960	899,960	899,960	100.0	100.0
循環資源利用促進税	813,970	772,221	767,359	94.3	99.4	893,691	913,493	908,185	101.6	99.4
旧法による税	-	1,115	400	-	35.9	-	2,997	380	-	12.7
計	602,492,088	614,696,897	572,748,494	95.1	93.2	586,717,512	602,531,809	559,062,544	95.3	92.8

第45表の続き

税 目	比 較					
	最終予算額		調定済額		収入済額	
	(A-D)	(A/D)	(B-E)	(B/E)	(C-F)	(C/F)
		%		%		%
個人道民税	1,128,443	100.7	△ 57,702	100.0	600,627	100.4
法人道民税	△ 1,301,600	93.6	△ 1,903,263	90.9	△ 1,929,549	90.6
道民税利子割	△ 630,770	67.0	△ 577,988	69.9	△ 577,988	69.9
個人事業税	131,368	103.0	233,169	105.0	191,736	104.4
法人事業税	22,025,074	124.6	19,119,190	120.8	19,312,491	121.3
地方消費税	△ 7,287,063	94.8	△ 6,776,854	95.1	△ 6,776,854	95.1
不動産取得税	499,814	103.3	593,974	103.6	952,571	106.7
道たばこ税	△ 208,849	97.3	△ 206,757	97.4	△ 206,657	97.4
ゴルフ場利用税	△ 89,516	94.7	△ 126,713	92.7	△ 125,401	92.8
自動車取得税	606,652	109.3	845,073	112.9	925,954	114.8
軽油引取税	1,412,704	102.5	1,795,373	103.1	1,814,973	103.9
自動車税	△ 356,188	99.5	△ 589,673	99.2	△ 315,100	99.6
鉦区税	724	102.5	2,959	109.9	2,499	108.6
道固定資産税	△ 38,678	96.0	△ 39,157	95.9	△ 39,157	95.9
狩猟税	△ 37,818	58.7	△ 3,389	93.9	△ 3,389	93.9
核燃料税	0	100.0	0	100.0	0	100.0
循環資源利用促進税	△ 79,721	91.1	△ 141,272	84.5	△ 140,826	84.5
旧法による税	-	-	△ 1,882	37.2	20	105.3
計	15,774,576	102.7	12,165,088	102.0	13,685,950	102.4

第4 地方交付税の状況

1 平成29年度当初予算の状況

平成29年度の地方交付税は、地方財政計画の状況を勘案した上で、6,190億円を計上しており、これは、一般会計歳入予算全体の22.5%を占めています。

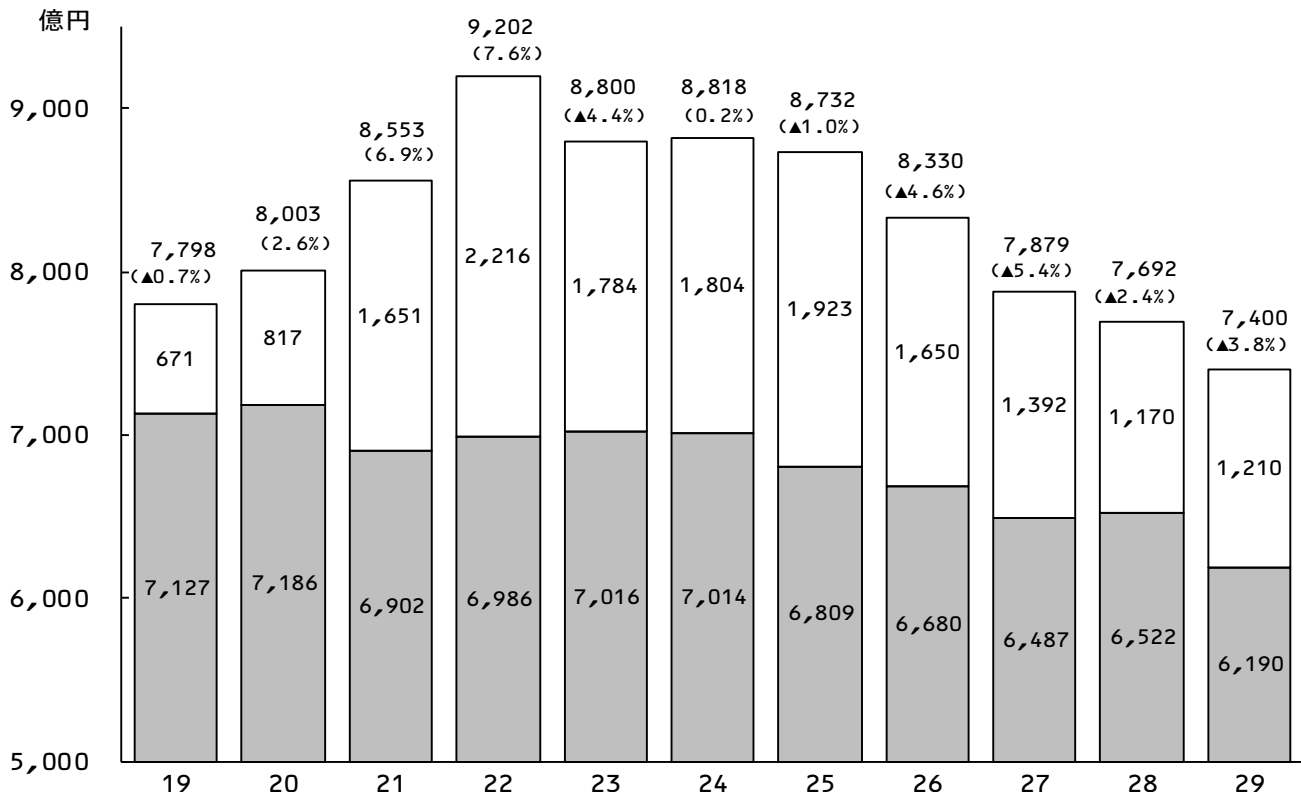
地方交付税には、地方団体間の財政力格差を是正し財源の均衡化を図る財源調整機能と、全ての地方団体が一定の行政サービス水準を維持することが可能となるよう財源を保障する財源保障機能という2つの機能があります。

また、地方交付税には2つの種類があります。

種類	内容
普通交付税	どの地方団体に対しても、行政の計画的な運営を可能とするために必要な財源を保障するもので、交付税全体の94%を占めています。 ◎算出方式 普通交付税 = (標準的な財政需要) - (標準的な財政収入)
特別交付税	災害による復旧工事等、普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対し交付されるもので、交付税全体の6%を占めています。

〔過去10年間の推移〕

※臨時財政対策債
地方財政全体の財源不足を補填するために発行される赤字地方債（普通交付税の振替）



※平成19~27年度は決算額、28年度は当初予算額。

※ () 書きは、対前年度伸び率。

□ 臨時財政対策債
■ 地方交付税

2 平成28年度補正の状況

平成28年度の地方交付税は、当初6,522億円を計上しましたが、その後の補正において59億7千8百万円を増額補正し、最終予算額は6,581億7千8百万円となりました。

第5 道債及び一時借入金並びに基金残高の状況

1 道債の状況

地方債は、地方公共団体が1年以上の長期にわたり負担する債務（借金）です。

地方公共団体の歳出は、地方債以外の歳入をもってまかなうことが原則ですが、地方債は、次のような機能や役割を有しており、公共・公用施設の建設や災害復旧事業などの財源として道債を発行し、社会資本整備の推進を図ってきています。

- 事業効果が後世の住民に及ぶため、住民負担の世代間の調整を図ることが公正と認められる場合
- 事業の執行により将来の経済発展を通じて、地方税源の充実により償還財源を生み出す場合など

(1) 平成29年度当初予算の状況

ア 借入額及び償還額

道債のうち、一般会計の借入額と償還額の推移は第46表のとおりです。

平成29年度の道債の借入額は6,265億円を予定しており、内訳は新規発行債が3,096億円、借換債が3,169億円となっています。

このように、道債の借入額が大きくなっている主な理由は次のとおりです。

- (ア) 景気の下支えなどのため、国の補正予算に沿った積極的な景気対策を行ってきたほか、道路整備や学校建設など住民に身近な生活・社会資本の整備を推進するため、その財源として道債を活用してきたこと。
- (イ) 国の地方財政対策において、特例的な地方債として、地方財政全体の収支不足を補填するための財政対策債などの発行が要請されたこと。
また、平成13～28年度に引き続き、平成29年度においても地方交付税の一部が臨時財政対策債に振替えられたこと。
- (ウ) 巨額の収支不足に対応するため、行政改革努力を前提とする行政改革推進債（平成17年度までは財政健全化債）を発行してきたこと。

一方、元利償還額も近年の道債借入額の増加に伴い、高い水準で推移しています。

第46表 借入額及び償還額累年比較

(単位 百万円)														
年 度	借入額 (A)	元利償還額 (B)	(B/A)	歳出に占める(B)の割合 %	年 度	借入額 (A)	元利償還額 (B)	(B/A)	歳出に占める(B)の割合 %	年 度	借入額 (A)	元利償還額 (B)	(B/A)	歳出に占める(B)の割合 %
昭和25年度	574	114	19.9	0.8	55	107,027	54,938	51.3	3.8	22	693,294	679,863	98.1	23.6
26	1,309	140	10.7	0.7	56	118,569	68,262	57.6	4.3	23	661,360	698,998	105.7	24.7
27	2,377	286	12.0	1.1	57	117,745	82,412	70.0	5.0	24	676,873	683,694	101.0	24.5
28	4,431	581	13.1	1.7	58	165,927	95,061	57.3	5.6	25	644,149	708,980	110.1	25.4
29	3,768	973	25.8	2.6	59	195,649	109,902	56.2	6.4	26	651,546	737,672	113.2	26.7
30	3,519	1,386	39.4	3.4	60	186,619	141,303	75.7	7.8	27	673,905	756,700	112.3	26.6
31	3,160	1,770	56.0	4.0	61	234,069	171,740	73.4	8.9	28(見込)	674,909	684,220	101.4	23.1
32	2,110	2,326	110.2	4.6	62	314,079	190,380	60.6	9.1	29(当初)	626,524	730,220	116.6	26.5
33	1,513	2,709	179.0	5.1	63	326,222	205,721	63.1	9.4					
34	1,587	2,865	180.5	5.0	平成元年度	270,563	224,352	82.9	9.5					
35	1,624	2,959	182.2	4.5	2	250,739	223,094	89.0	9.2					
36	1,568	3,738	238.4	4.7	3	227,805	232,965	102.3	9.2					
37	2,746	2,480	90.3	2.5	4	289,417	238,976	82.6	8.6					
38	3,311	2,746	82.9	2.4	5	373,642	436,337	116.8	14.6					
39	4,253	3,133	73.7	2.3	6	381,824	400,108	104.8	13.7					
40	4,694	3,418	72.8	1.5	7	514,361	294,948	57.3	9.6					
41	7,584	4,090	53.9	2.2	8	457,565	311,522	68.1	10.7					
42	4,986	4,623	92.7	2.2	9	532,202	316,237	59.4	10.2					
43	5,301	6,650	125.4	2.8	10	635,667	329,774	51.9	9.5					
44	5,456	5,692	104.3	2.1	11	514,538	336,880	65.5	9.5					
45	6,019	6,041	100.4	1.9	12	492,028	322,162	65.5	9.6					
46	17,378	6,722	38.7	1.7	13	509,246	337,037	66.2	10.2					
47	25,252	7,365	29.2	1.6	14	576,628	400,358	69.4	13.2					
48	17,156	9,487	55.3	1.7	15	603,355	440,241	73.0	15.0					
49	12,654	10,356	81.8	1.5	16	598,950	476,942	79.6	16.6					
50	41,516	11,999	28.9	1.5	17	635,301	682,107	107.4	23.3					
51	77,947	16,388	21.0	1.8	18	565,176	588,202	104.1	21.0					
52	82,376	23,554	28.6	2.3	19	667,852	742,568	111.2	25.4					
53	114,541	30,263	26.4	2.4	20	736,722	873,078	118.5	29.8					
54	133,372	42,082	31.6	3.0	21	731,315	737,771	100.9	24.0					

イ 会計別、目的別道債残高

平成29年度末における道債の残高見込みは第47表のとおりです。

一般会計の借入目的別内訳をみると、公共事業のための建設債、地方交付税の一部の振替である臨時財政対策債のウエイトが高くなっています。

第47表 会計別、目的別道債残高見込み

(単位 千円)					
目的別	平成29年度末 残高見込み	構成比	目的別	平成29年度末 残高見込み	構成比
一般会計		(97.8)	特別会計		(2.2)
普通債	2,046,104,730	35.4	母子父子寡婦福祉資金貸付事業債	7,450,153	5.7
総務債	122,503,557	2.1	中小企業近代化資金貸付事業債	8,903,486	6.8
総合政策債	104,816,317	1.8	苫小牧東部地域開発事業債	14,069,100	10.8
環境生活債	4,575,553	0.1	石狩湾新港地域開発事業債	8,136,712	6.3
保健福祉債	21,755,047	0.4	就農支援資金貸付事業債	3,449,451	2.7
経済債	5,774,065	0.1	特定公共下水道債	4,191,064	3.2
農政債	230,076,893	4.0	流域下水道債	19,524,996	15.0
水産林務債	321,447,242	5.5	道営住宅債	64,381,226	49.5
建設債	1,180,805,789	20.4	小計	130,106,188	100.0
警察債	10,514,688	0.2			
教育債	43,835,579	0.8			
災害復旧債	37,184,124	0.6			
借換債	2,202,132,221	38.0			
住民税等減税補填債	677,554	0.0			
臨時税収補填債	5,328,000	0.1			
臨時財政対策債	1,474,445,706	25.5			
減収補填債	14,611,598	0.3			
その他	7,620,526	0.1			
小計	5,788,104,459	100.0	合計	5,918,210,647	100.0

(2) 平成28年度道債残高の状況

平成29年3月末における道債残高の一般会計及び特別会計の総額は5兆8,811億7千万円で、その内訳は第48表のとおりとなっています。

また、借入先別、利率別の内訳は、第49表及び第50表のとおりとなっています。

なお、このほか公営企業会計の道債残高は総額390億3千5百万円で、その内訳は、公営企業の業務の状況に登載のとおりとなっています。

第48表 会計別、目的別道債残高

(単位 千円)					
目的別	平成29年3月末 残高	構成比	目的別	平成29年3月末 残高	構成比
一般会計		(97.8)	特別会計		(2.2)
普通債	2,116,150,495	36.8	母子父子寡婦福祉資金貸付事業債	7,612,153	5.9
総務債	107,846,067	1.9	中小企業近代化資金貸付事業債	9,335,745	7.3
総合政策債	99,294,577	1.7	苫小牧東部地域開発事業債	14,069,100	11.0
環境生活債	4,712,262	0.1	石狩湾新港地域開発事業債	8,136,712	6.4
保健福祉債	18,586,026	0.3	就農支援資金貸付事業債	3,873,289	3.0
経済債	5,991,605	0.1	特定公共下水道債	4,050,179	3.2
農政債	250,055,763	4.3	流域下水道債	20,024,051	15.7
水産林務債	344,434,364	6.0	道営住宅債	60,820,719	47.5
建設債	1,234,504,301	21.5	小計	127,921,948	100.0
警察債	7,487,716	0.1			
教育債	43,237,814	0.8			
災害復旧債	7,147,681	0.1			
借換債	2,136,506,935	37.1			
住民税等減税補填債	1,211,675	0.0			
臨時税収補填債	6,125,913	0.1			
臨時財政対策債	1,454,008,366	25.3			
減収補填債	23,821,687	0.4			
その他	8,277,156	0.2			
小計	5,753,249,908	100.0	合計	5,881,171,856	100.0

第49表 借入先別道債残高（一般会計）

(単位 千円)

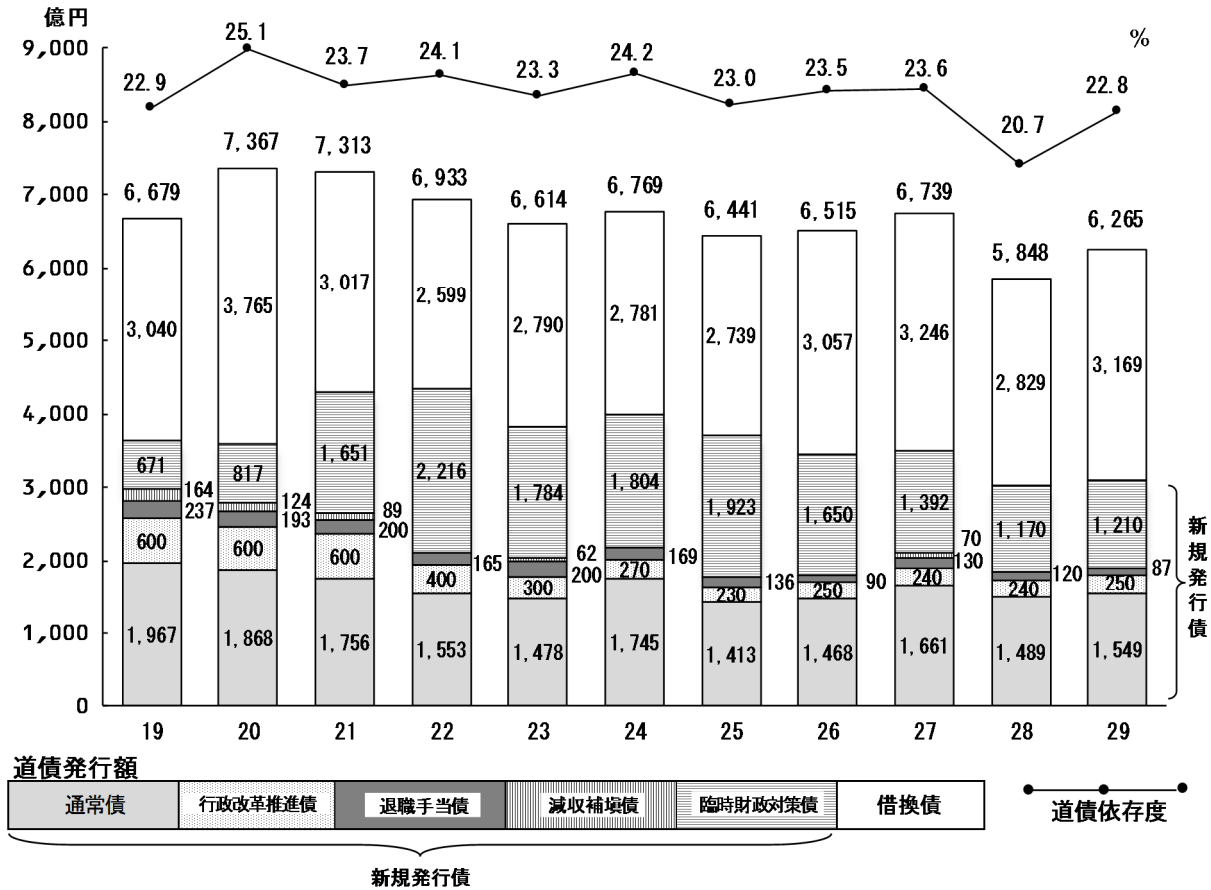
区 分	平成29年 3月末残高	借入先別内訳						
		財政融資資金	旧郵政公社資金		地方公共団体 金融機構	市中銀行等	市場公募	その他
			旧郵貯資金	旧簡保資金				
普通債	2,116,150,495	491,833,764	9,535,613	141,274,261	103,075,265	700,168,419	645,003,200	25,259,973
災害復旧債	7,147,681	4,222,970		1,110,392	442,500	1,350,819	21,000	
借換債	2,136,506,935					913,211,935	1,223,295,000	
住民税等減税補填債	1,211,675					1,211,675		
臨時税収補填債	6,125,913	6,125,913						
臨時財政対策債	1,454,008,366	15,819,489	11,837,192		371,657,687	132,727,198	921,966,800	
減収補填債	23,821,687					19,287,690	4,533,997	
その他	8,277,156						180,000	8,097,156
計	5,753,249,908	518,002,136	21,372,805	142,384,653	475,175,452	1,767,957,736	2,794,999,997	33,357,129
(構成比%)	100.0	9.0	0.4	2.5	8.2	30.7	48.6	0.6

第50表 利率別、借入先別道債残高

(単位 千円)

借入先	平成29年 3月末残高	利率別内訳					
		2.0%以下 のもの	2.0%を超え 3.0%以下の もの	3.0%を超え 5.0%以下の もの	5.0%を超え 6.0%以下の もの	6.0%を超え 7.0%以下の もの	7.0%を超え るもの
一般会計							
財政融資資金	518,002,136	492,318,901	24,555,745	1,127,490			
旧郵貯資金	21,372,805	21,372,805					
旧簡保資金	142,384,653	124,178,074	12,924,387	5,282,192			
地方公共団体金融機構	475,175,452	434,521,936	9,985,044	28,891,956	418,000	1,358,516	
市中銀行等	1,767,957,736	1,753,127,737	14,829,999				
市場公募	2,794,999,997	2,794,999,997					
その他	33,357,129	33,357,129					
計	5,753,249,908	5,653,876,579	62,295,175	35,301,638	418,000	1,358,516	
特別会計							
財政融資資金	20,379,942	13,673,197	3,639,147	3,067,598			
旧郵貯資金							
旧簡保資金	17,879,952	14,759,345	1,981,775	1,138,832			
地方公共団体金融機構	23,550,630	20,406,089	2,320,428	824,113			
市中銀行等	43,996,560	43,996,560					
市場公募							
その他	22,114,864	19,810,750	79,603	2,224,511			
計	127,921,948	112,645,941	8,020,953	7,255,054			
合計							
財政融資資金	538,382,078	505,992,098	28,194,892	4,195,088			
旧郵貯資金	21,372,805	21,372,805					
旧簡保資金	160,264,605	138,937,419	14,906,162	6,421,024			
地方公共団体金融機構	498,726,082	454,928,025	12,305,472	29,716,069	418,000	1,358,516	
市中銀行等	1,811,954,296	1,797,124,297	14,829,999				
市場公募	2,794,999,997	2,794,999,997					
その他	55,471,993	53,167,879	79,603	2,224,511			
合計	5,881,171,856	5,766,522,520	70,316,128	42,556,692	418,000	1,358,516	
(構成比%)	100.0	98.1	1.2	0.7	0.0	0.0	

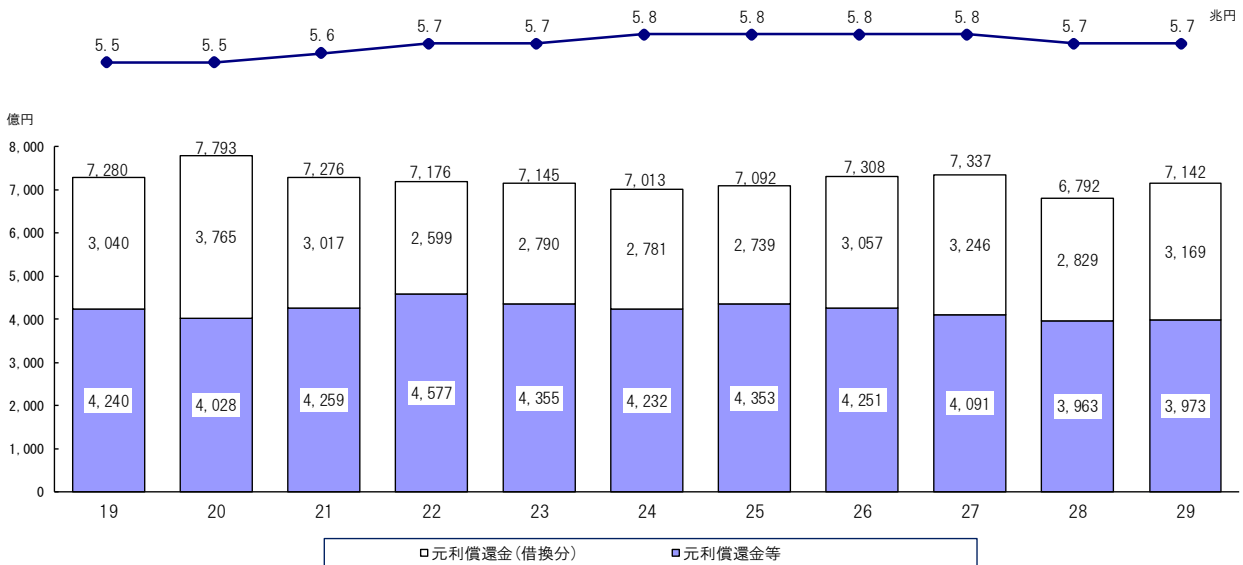
〔道債〕



※平成19～27年度は決算額、28年度は当初予算額。

- ※ 臨時財政対策債 : 地方財政全体の財源不足を補填するために普通交付税の振替わりとして発行される赤字地方債
- ※ 行政改革推進債 : 一定の行政改革努力などにより、発行が認められる建設地方債 (平成29年度は250億円のうち115億円を通常債に振替)
- ※ 退職手当債 : 定年退職者等の退職手当の財源に充てるための地方債
- ※ 減収補填債 : 実際の税収が、普通交付税の「基準財政収入額」の算定に用いた税収見込額を下回った場合に、その財源を補填するために発行できる地方債

〔公債償還費・道債残高〕



※国費により償還財源が補填されるNTT債等を含まない。
 ※平成19～27年度は決算額、平成28年度は最終予算額、平成29年度は当初予算額。
 ※平成20～27年度は減債基金(満期一括償還分)の積立留保等を行っている。
 (積立留保 H20:390億円 H21:170億円 積立 H22:80億円 H23:30億円 H24:200億円 H25:130億円 H26:50億円 H27:50億円)

2 一時借入金の状況

一時借入金は、予算を執行するに当たり、歳計現金に不足を生じた場合に、一時的に他より資金を借り入れて支払に充てるもので、平成28年度下半期における借入れの状況は、第51表に示すとおりです。

なお、平成28年度予算における一時借入金の借入限度額は2,500億円で、借入れに伴う利子は2億円となっています。

第51表 一時借入金の状況

(単位 千円)				
月 別	借 入 額	返 済 額	月 末 現 在 高	ピ ー ク 額
平成28年10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
平成29年1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0

3 基金残高の状況

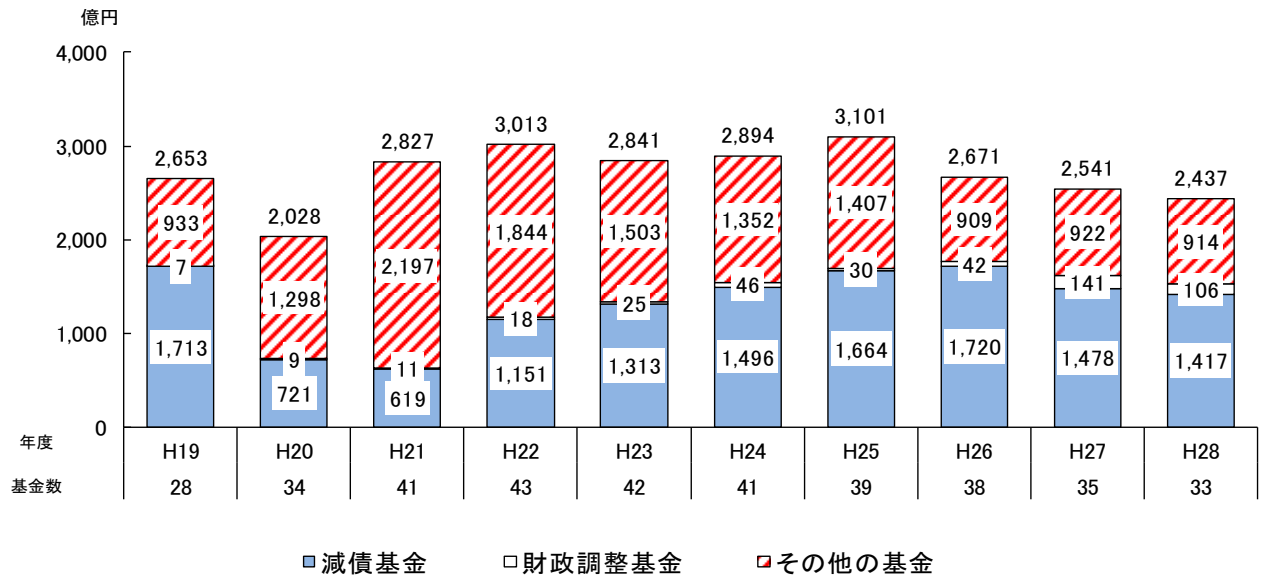
道には、現在、財政調整基金、減債基金等33の基金があり、市中銀行への預金及び有価証券等により運用しています。各基金の内容は、下記のとおりであり、過去10年間の残高状況は次のとおりです。

基金名	内 容	()は設置年月
財政調整基金	災害の財源その他緊急を要し、必要やむを得ない財政需要に充てるための基金	(S37. 11)
減債基金	道債の償還に要する経費の財源に充てるための基金	(S55. 3)
北方領土隣接地域振興等基金	北方領土問題等の解決促進のための事業に要する経費に充てるための基金	(S58. 7)
ふるさと寄附基金	地域の活性化に資するための事業、地域の文化及び社会教育の振興に資するための事業、地域の生活環境の向上に資するための事業等地域の振興を図るために必要な事業に要する経費の財源に充てるための基金	(H2. 3)
教育施設整備基金	教育施設の整備に要する経費の財源に充てるための基金	(S53. 12)
市町村振興基金	市町村の振興のために必要な事業に要する貸付に充てるための基金	(S44. 3)
環境保全基金	環境保全の推進を図るために必要な事業に充てるための基金	(H2. 3)
地域福祉基金	在宅福祉の普及及び向上、健康及び生きがいがづくりの推進その他地域福祉の推進を図るために民間団体が行う事業の支援の財源に充てるための基金	(H3. 7)
介護保険財政安定化基金	介護保険の財政の安定化に資する事業に必要な費用に充てるための基金	(H12. 3)
苫小牧東部地域開発減債基金	苫小牧東部地域の開発を目的として発行する道債の償還に要する経費に充てるための基金	(H11. 7)
地方競馬事業経営安定基金	地方競馬事業の安定的な運営に要する経費の財源に充てるための基金	(H2. 12)
中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金	農地の多面的機能の良好な発揮と農地等の利活用に係る地域住民の共同活動の活発化により、中山間地域等の活性化を図るために必要な事業に充てるための基金	(H5. 10)

基金名	内 容	()は設置年月
森林整備担い手 対策基金	森林整備の担い手としての林業労働に従事する者の労働安全衛生の確保に関する経費等の財源に充てるための基金(H5. 3)	
少年スポーツ 振興基金	少年スポーツの振興を図るために必要な事業に要する経費に充てるための基金(S49. 12)	
美術品取得基金	道立美術館及び道立博物館の事業に供する美術品の取得経費に充てるための基金(H5. 3)	
災害救助基金	災害に際して応急的に必要な救助、応援の実施に要した経費に充てるための基金(S23)	
文化基金	文化活動の促進に関する事業等に必要な経費に充てるための基金(H6. 3)	
農業・農村 ふれあい促進基金	農業・農村に対する理解促進のために必要な事業に要する経費に充てるための基金(H9. 4)	
森林整備地域活動 支援基金	森林の施業の実施に不可欠な地域活動を確保するための支援を通じて適切な森林整備の推進を図るために必要な事業の経費に充てるための基金(H14. 10)	
国民健康保険広域化等 支援基金	国民健康保険事業の運営の広域化及び国民健康保険の財政の安定化を図るために必要な事業に要する経費に充てるための基金(H14. 12)	
石狩湾新港地域開発 減債基金	石狩湾新港地域の開発を目的として発行する道債の償還に要する経費に充てるための基金(H15. 8)	
道営住宅事業 減債基金	道営住宅等の整備を目的として発行する道債の償還に要する経費の財源に充てるための基金(H18. 4)	
循環資源利用促進税 基金	産業廃棄物の排出抑制及び循環資源の循環的な利用その他産業廃棄物の適正な処理に係る施策に要する経費に充てるための基金(H18. 10)	
後期高齢者医療 財政安定化基金	後期高齢者医療の財政の安定化を図るために必要な事業に要する経費の財源に充てるための基金(H20. 3)	
消費者行政活性化 基金	北海道における消費生活相談窓口の機能強化等を図るための事業に必要な経費に充てるための基金(H21. 2)	
安心こども基金	保育所の計画的な整備等の実施、認定こども園等の新たな保育の需要への対応等を通じて、子どもを安心して育てることができる体制の整備を図るための事業に必要な経費に充てるための基金(H21. 2)	
地域自殺対策 緊急強化基金	地域の実情に応じ、北海道における自殺対策を緊急に強化するための事業に必要な経費に充てるための基金(H21. 7)	
森林整備加速化・ 林業再生基金	間伐その他の森林整備の加速化及び間伐材等を活用した地域の林業・木材産業等の再生を図るための事業に必要な経費に充てるための基金(H21. 7)	
グリーンニューディール 基金	地球温暖化の防止対策、廃棄物の処理対策等の取組を通じて、地球温暖化等の環境問題の解決の促進を図るための事業に必要な経費に充てるための基金(H21. 10)	
農業構造改革 支援基金	農業経営の規模の拡大、耕作の事業に供される農用地の集団化、農業への新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等の取組への支援を通じて、北海道における農業の構造改革の推進を図るための事業に必要な経費に充てるための基金(H26. 2)	
地域医療介護 総合確保基金	地域における医療及び介護の総合的な確保の推進を図るために必要な事業に要する経費に充てるための基金(H26. 12)	

基金名	内 容	()は設置年月
国民健康保険 財政安定化基金	国民健康保険の財政の安定化を図るために必要な事業に要する経費の財源に充てるための基金 (H28. 3)	
未来人材応援 基金	北海道に貢献する意欲のある若者が海外において自らの資質の向上に挑戦することを応援し、北海道の将来を担う人材の育成を図るために必要な事業に要する経費の財源に充てるための基金 (H28. 12)	

各年度末における基金残高の推移



第6 行財政運営方針

1 「行財政運営方針」における収支対策（H28～H29）

区 分	内 容																				
財政的調整	○行政改革推進債の発行(行革効果の範囲内において27年度規模で発行)																				
	○退職手当債の発行(発行可能額の範囲において発行)																				
歳 人 件 費	○給与の縮減 ・一般職（管理職員） ・特別職																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">給 料</th> <th style="width: 25%;">管理職手当</th> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">給 料</th> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">給 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課長相当職以上</td> <td>▲ 7%</td> <td>▲ 10%</td> <td>知 事</td> <td>▲ 25%</td> <td>教 育 長</td> <td>▲ 15%</td> </tr> <tr> <td>主幹相当職</td> <td>▲ 3%</td> <td>▲ 8%</td> <td>副知事</td> <td>▲ 20%</td> <td>そ の 他</td> <td>▲ 10%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	給 料	管理職手当	区 分	給 料	区 分	給 料	課長相当職以上	▲ 7%	▲ 10%	知 事	▲ 25%	教 育 長	▲ 15%	主幹相当職	▲ 3%	▲ 8%	副知事	▲ 20%	そ の 他
区 分	給 料	管理職手当	区 分	給 料	区 分	給 料															
課長相当職以上	▲ 7%	▲ 10%	知 事	▲ 25%	教 育 長	▲ 15%															
主幹相当職	▲ 3%	▲ 8%	副知事	▲ 20%	そ の 他	▲ 10%															
出 削 減	○内 訳																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">内 容(一般財源ベース)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公 共 事 業 費</td> <td>補 助 事 業 費 前年度対比▲ 4%程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">投 資 的 事 業 費</td> <td>国直轄事業負担金 27年度規模継続</td> </tr> <tr> <td>特別対策事業費 27年度規模継続</td> </tr> <tr> <td>公共関連単独事業費 27年度規模継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※施設等建設工事費については、27年度規模継続を基本とし、耐震改修等緊急性の高いものや施設等の長寿命化など計画的改修等に配慮</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	内 容(一般財源ベース)	公 共 事 業 費	補 助 事 業 費 前年度対比▲ 4%程度	投 資 的 事 業 費	国直轄事業負担金 27年度規模継続	特別対策事業費 27年度規模継続	公共関連単独事業費 27年度規模継続	※施設等建設工事費については、27年度規模継続を基本とし、耐震改修等緊急性の高いものや施設等の長寿命化など計画的改修等に配慮											
区 分	内 容(一般財源ベース)																				
公 共 事 業 費	補 助 事 業 費 前年度対比▲ 4%程度																				
投 資 的 事 業 費	国直轄事業負担金 27年度規模継続																				
	特別対策事業費 27年度規模継続																				
	公共関連単独事業費 27年度規模継続																				
※施設等建設工事費については、27年度規模継続を基本とし、耐震改修等緊急性の高いものや施設等の長寿命化など計画的改修等に配慮																					
その他歳出	○これまでの取組実績を踏まえた事業の厳しい取捨選択や施策間連携・横断的事業の推進などによる歳出の削減・効率化																				
歳入確保	○道税・交付税等の確保努力、使用料・手数料等の見直し、遊休資産等の活用(売却や貸付等)																				

2 当初予算編成を踏まえた収支のローリング

[一般財源ベース]

(単位 億円)

区 分	H29見込 (H28当初時) ^a	H29当初 b	増 減 b-a	情勢変化等によるもの	
				情勢変化等によるもの	制度変更(※)によるもの
歳 人 件 費	4,820	4,880	60	勧告に伴う給与改定	60
投資的経費	560	570	10	投資的事業の増	10
道債償還費	4,080	3,980	▲ 100	金利減等	▲ 100
義務的経費	6,390	6,380	▲ 10		▲ 130
保健福祉関係	3,220	3,210	▲ 10	社会保障費の精査	▲ 10
その他	3,170	3,170	0	地方消費税清算金減等	▲ 120 (A)▲200 (B)+320
その他歳出	1,500	1,500	0		0
計	A 17,350	17,310	▲ 40		▲ 160
道税・交付税等	14,110	14,280	170	地方消費税減等	▲ 70 (A)▲ 80 (B)+320
その他歳入	2,740	2,510	▲ 230	地方消費税清算金減等	▲ 110 (A)▲120
計	B 16,850	16,790	▲ 60		▲ 180
収支不足額 (B - A) C	▲ 500	▲ 520	▲ 20		▲ 20

収支対策	財政的調整	行政改革推進債	240	240	0
		退職手当債	90	90	0
	歳出削減	人件費	20	20	0
		投資的経費	10	10	0
		その他歳出	20	20	0
		歳入確保等	30	30	0
	基金取崩	20	20	0	財政調整基金取崩
要調整額 (C + D) E			▲ 70	▲ 90	▲ 20

↑

※制度変更の内容
(A) 消費税増税の延期関連
(B) 教職員給与等の政令市移管に伴う段階的な税源移譲
(H29は全額交付金化)

追加対策	行政改革推進債の増発	10	10	投資的事業増に伴う増
	更なる歳入確保	10	10	有価証券売却
	F 前年度財源の活用等	70	70	財政調整基金取崩
追加対策後要調整額 (E + F) G		0		

[参考] 道財政の中期展望（一般財源ベース）

		対策期間→	計画期間→				(単位 億円)				
区 分		H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
歳 出	人 件 費	4,880	4,820	4,820	4,740	4,650	4,580	4,580	4,540	4,450	4,390
	投 資 的 経 費	570	550	540	530	530	530	530	530	530	530
	道 債 償 還 費	3,980	3,930	3,960	3,870	3,810	3,830	3,830	3,880	3,920	3,920
	臨時財政対策債	870	950	1,000	960	960	990	1,040	1,060	1,100	1,160
	そ の 他	3,110	2,980	2,960	2,910	2,850	2,840	2,790	2,820	2,820	2,760
	義 務 的 経 費	6,380	6,190	6,240	6,650	7,000	7,090	7,190	7,260	7,360	7,460
	保 健 福 祉 関 係	3,210	3,290	3,380	3,470	3,560	3,650	3,740	3,830	3,920	4,010
	そ の 他	3,170	2,900	2,860	3,180	3,440	3,440	3,450	3,430	3,440	3,450
	そ の 他 歳 出	1,500	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480
	計 A	17,310	16,970	17,040	17,270	17,470	17,510	17,610	17,690	17,740	17,780
歳 入	道 税 ・ 交 付 税 等	14,280	14,120	14,140	14,280	14,370	14,440	14,510	14,580	14,650	14,730
	そ の 他 歳 入	2,510	2,460	2,460	2,730	2,980	2,970	2,970	2,970	2,960	2,960
入 計 B		16,790	16,580	16,600	17,010	17,350	17,410	17,480	17,550	17,610	17,690
収 支 不 足 額 (B - A) C		▲ 520	▲ 390	▲ 440	▲ 260	▲ 120	▲ 100	▲ 130	▲ 140	▲ 130	▲ 90
収支 対策 D	財 政 的 調 整	340	財政的調整による収支対策を基本としつつ、国の制度改革や地方財政政策などの状況を踏まえながら、H30当初予算編成までに必要な対策を検討				財政健全化目標 (収支均衡を目指す)				
	歳 出 削 減 等	90									
要 調 整 額 (C + D)		90									
		0									

※各年度の歳出削減等（投資的経費及びその他歳出）の効果は翌年度の歳出に反映。

※財政健全化目標（収支均衡の財政運営）：歳出削減や歳入確保などに取り組み、平成33年度において収支均衡の財政運営を目指す。

(H30以降の試算の前提条件)

区 分	内 容	
歳 出	人 件 費	○職員数変動、定期昇給、退職手当等の見通しを反映
	投 資 的 経 費	○国直轄負担金（新幹線分、国営土地改良事業等過年度償還分）は増減見込を反映（新幹線分には、一定条件設定のもと新函館北斗－札幌間の負担額を推計） ○他の要素は前年度（収支対策反映後）と同額として推計
	道 債 償 還 費	○利率は1.1%（10年債）で推計 ○臨時財政対策債は、H30以降も、H29と同規模（1,210億円）の発行が続くものとして推計
	義 務 的 経 費	○保健福祉関係は、高齢化の進展による医療費等の増により、年90億円程度の増と推計 ○増税時期の延期による消費税清算金支出等への影響を反映し推計（増税時期 H29年4月→H31年10月） ○その他は、共済住宅資金年賦金の減、知事・道議会議員選挙費（4年毎）を反映し推計
	そ の 他 歳 出	○前年度（収支対策反映後）と同額として推計
歳 入	道 税 ・ 交 付 税 等	○国の名目経済成長率を参考に道税収入を推計 ○消費税増税時期の延期による影響を反映し推計（増税時期 H29年4月→H31年10月） ○県費負担教職員給与等の政令市への移譲に係る影響を反映 ○地方交付税の減額精算の終了を反映し推計（H29まで減債基金から繰入れ）
	そ の 他 歳 入	○増税時期の延期による消費税清算金収入への影響を反映し推計（増税時期 H29年4月→H31年10月）

※H30以降は、社会保障の充実に係る経費をH29と同額と見込み、消費税率10%引上げ（H31.10月）に伴う影響を8%影響額から機械的に算出した道税・交付税等の額を反映し、収支不足額には影響がないものとして推計。

※国の名目経済成長率については、「平成29年度予算の後年度歳出・歳入への影響試算（H29.1月財務省）」における名目経済成長率などを参考。

第7 公営企業の業務の状況

1 北海道病院事業会計

(1) 平成29年度当初予算の状況

この会計は、健康保持に必要な医療を広く道民に提供し、常に企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉の増進を図ることを目的として設置されたものです。

平成29年度は、病院運営の健全化に重点を置いて事業を実施する予定であり、予定業務量は、次に示すとおりです。

また、この会計の平成29年度当初予算の収入支出内訳は、第52表のとおりです。

なお、一時借入金の限度額は19億円です。

病 院 数 6 病院
病 床 数 876 床

年間取扱予定患者数

入 院 177,612 人
外 来 257,814 人

一日平均予定患者数

入 院 487 人
外 来 1,057 人

第52表 平成29年度当初予算の収入支出内訳

(単位 千円)

収 入			支 出		
区 分	科 目	予 算 額	区 分	科 目	予 算 額
収益的 収入	病 院 事 業 収 益	16,922,833	収益的 支出	病 院 事 業 費 用	17,259,847
	医 業 収 益	8,734,516		医 業 費 用	14,889,955
	医 業 外 収 益	8,169,417		医 業 外 費 用	2,317,167
	特 別 利 益	18,900		特 別 損 失	52,725
資本的 収入	資 本 的 収 入	1,665,997	資本的 支出	資 本 的 支 出	2,193,493
	企 業 債	770,000		建 設 改 良 費	825,721
	補 助 金	0		企 業 債 償 還 金	1,367,772
	他 会 計 負 担 金	895,997			

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額5億2,749万6千円は、当年度分損益勘定留保資金5億2,749万6千円で補填する。

(2) 平成 28 年度下半期の業務状況

ア 事業の概要

病院事業は、道民に対しての医療サービスの充実向上に努めるとともに、効率的な運営と施設の整備改善を図った結果、事業実績は、第 53 表のとおりとなりました。

第 53 表 平成 28 年度病院事業の実績

区 分	計 画		実 績			(B/A)
	当 初	最 終 (A)	上 半 期	下 半 期	計 (B)	
年間取扱延患者数	人	人	人	人	人	%
入 院	201,460	159,296	80,111	78,412	158,523	99.5
外 来	272,404	250,189	126,437	122,309	248,746	99.4
一日平均患者数						
入 院	552	436	438	431	434	99.5
外 来	1,121	1,030	1,028	1,019	1,024	99.4

イ 経理の状況

(7) 収益的収入及び支出 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位 千円)

区 分	科 目		予 算 額			執 行 額			予算残額	執行率
	款	項	上半期における 予 算 額	下半期における 補 正 額	計	上 半 期 上 執 行 額	下 半 期 下 執 行 額	計		
収益的収入	病院事業収益	医 業 収 益	9,468,621	△ 1,578,083	7,890,538	3,872,776	4,021,436	7,894,212	△ 3,674	100.0
		医 業 外 収 益	8,123,570	△ 328,328	7,795,242	2,855,601	5,215,746	8,071,347	△ 276,105	103.5
		特 別 利 益	17,800	25,094	42,894	24,602	757	25,359	17,535	59.1
		計	17,609,991	△ 1,881,317	15,728,674	6,752,979	9,237,939	15,990,918	△ 262,244	101.7
収益的支出	病院事業費用	医 業 費 用	15,361,474	△ 1,016,508	14,344,966	4,372,346	9,779,463	14,151,809	193,157	98.7
		医 業 外 費 用	2,437,810	△ 213,395	2,224,415	645,934	1,554,617	2,200,551	23,864	98.9
		特 別 損 失	67,680	26,740	94,420	52,312	11,789	64,101	30,319	67.9
		計	17,866,964	△ 1,203,163	16,663,801	5,070,592	11,345,869	16,416,461	247,340	98.5

(4) 資本的収入及び支出 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位 千円)

区 分	科 目		予 算 額			執 行 額			予算残額	執行率
	款	項	上半期における 予 算 額	下半期における 補 正 額	計	上 半 期 上 執 行 額	下 半 期 下 執 行 額	計		
資本的収入	資本的収入	企 業 債	836,000	△ 21,000	815,000	—	729,000	729,000	86,000	89.4
		補 助 金	—	—	—	—	—	—	—	0.0
		他会計負担金	680,797	—	680,797	357,815	322,982	680,797	—	100.0
		固定資産売却代金	—	—	—	50	100	150	△ 150	0.0
	計	1,516,797	△ 21,000	1,495,797	357,865	1,052,082	1,409,947	85,850	94.3	
資本的支出	資本的支出	建 設 改 良 費	903,409	△ 38,679	864,730	114,144	661,712	775,856	88,874	89.7
		企 業 債 償 還 金	1,003,657	—	1,003,657	499,488	504,168	1,003,656	1	100.0
		計	1,907,066	△ 38,679	1,868,387	613,632	1,165,880	1,779,512	88,875	95.2

(ウ) 残高試算表 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位 円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
23,622,833,433	固 定 資 産	
4,248,180,389	流 動 資 産	
	固 定 負 債	60,093,000,615
	流 動 負 債	4,153,051,722
	繰 延 収 益	14,210,123,017
	資 本 金	1,088,479,671
	剰 余 金	660,628,464
51,908,150,395	欠 損 金	
	病 院 事 業 収 益	15,977,884,051
16,404,003,323	病 院 事 業 費 用	
96,183,167,540	合 計	96,183,167,540

(エ) 企業債の残高

(単位 円)

発行年度	発 行 総 額	平成 28 年 9 月 30 日 現 在 未 償 還 残 高	下半期償還額	平成 29 年 3 月 31 日 現 在 未 償 還 残 高
平成7年度	575,000,000	272,426,447	12,411,505	260,014,942
8	1,547,000,000	781,847,425	32,283,846	749,563,579
9	7,117,000,000	3,354,440,770	156,329,711	3,198,111,059
10	403,000,000	208,654,793	8,621,080	200,033,713
11	56,000,000	33,659,916	1,092,114	32,567,802
12	137,000,000	86,016,435	2,647,106	83,369,329
14	104,000,000	72,068,814	1,981,351	70,087,463
15	505,000,000	377,823,394	9,127,515	368,695,879
16	3,786,000,000	2,937,617,377	69,423,676	2,868,193,701
17	2,170,000,000	1,774,754,339	38,208,656	1,736,545,683
18	5,751,000,000	4,893,588,889	100,357,918	4,793,230,971
19	12,000,000	10,516,539	220,700	10,295,839
23	105,000,000	13,125,000	13,125,000	—
24	105,000,000	39,375,000	13,125,000	26,250,000
25	212,000,000	134,942,964	25,737,067	109,205,897
26	280,000,000	260,534,099	19,475,634	241,058,465
27	6,790,000,000	6,790,000,000	—	6,790,000,000
28	729,000,000	729,000,000	—	729,000,000
計	30,384,000,000	22,770,392,201	504,167,879	22,266,224,322

2 北海道電気事業会計

(1) 平成 29 年度当初予算の状況

電気事業は、主に河川総合開発事業及び国のエネルギー政策である中小水力電源開発促進の一環として電源の開発を行い、電力の供給によって道民経済の発展に資することを目的としています。

平成 29 年度は、7 発電所の運転により電力の安定供給に努めるほか、沼の沢取水堰発電所建設事業や清水沢発電所改修事業などの建設改良事業を行うこととしており、予定業務量の概要は次のとおりです。

この会計の平成 29 年度当初予算の収入及び支出の内訳は、第 54 表のとおりです。

なお、一時借入金の限度額は、1 億 8 千万円です。

建設改良計画

沼の沢取水堰発電所建設事業	23,663 千円
清水沢発電所改修事業	400,973 千円
その他	521,120 千円

電力供給計画

区 分	北海道電力(株)
	kw h
鷹 泊 発 電 所	26,191,000
川 端 発 電 所	9,268,000
岩 尾 内 発 電 所	39,705,000
ポ ン テ シ オ 発 電 所	41,672,000
滝 下 発 電 所	72,981,000
清 水 沢 発 電 所	(改修工事)
滝 の 上 発 電 所	6,747,000
シ ュ ー パ ロ 発 電 所	81,939,000
計	278,503,000

第 54 表 平成 29 年度当初予算の収入支出内訳

(単位 千円)

収 入			支 出		
区 分	科 目	予 算 額	区 分	科 目	予 算 額
収益的収入	電 気 事 業 収 益	4,395,997	収益的支出	電 気 事 業 費 用	3,020,728
	営 業 収 益	4,239,895		営 業 費 用	2,627,428
	財 務 収 益	665		財 務 費 用	210,343
	営 業 外 収 益	155,437		営 業 外 費 用	179,717
			特 別 損 失	3,240	
資本的収入	資 本 的 収 入	372,077	資本的支出	資 本 的 支 出	3,050,597
	企 業 債 金	370,000		建 設 改 良 費	945,756
	負 担 金	2,077		企 業 債 償 還 金	833,841
			投 資	71,000	
			繰 出 金	1,200,000	

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額26億7,852万円は、過年度分損益勘定留保資金12億2,108万5千円、当年度分損益勘定留保資金5億5,847万円、減債積立金8億3,384万1千円及び当年度資本的収支調整額6,512万4千円で補填する。

(2) 平成 28 年度下半期の業務状況

ア 事業の概要

(ア) 平成 28 年度下半期における送電電力量は、8,835 万 9,408kWh で、標準送電電力量 6,785 万 8,000kWh に対し、2,050 万 1,408kWh の増となりました。

(イ) 建設改良事業

滝の上発電所改修事業については、発電所の建設工事が完了し平成 28 年 10 月に運転を再開しました。

また、清水沢発電所改修事業については、実施設計及び積算業務を行いました。

イ 経理の状況

(ア) 収益的収入及び支出（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	科 目		予 算 額			執 行 額			翌年度繰越額	予算残額	執行率
	款	項	上半期における 予 算 額	下半期における 補 正 額	計	上 半 期 上 執 行 額	下 半 期 下 執 行 額	計			
収益的収入	電気事業収益	営業収益	4,260,623	611,599	4,872,222	3,082,839	2,234,934	5,317,773		△ 445,551	109.1
		財務収益	1,597	△ 290	1,307	0	1,307	1,307		—	100.0
		営業外収益	140,451	13,711	154,162	6,231	147,604	153,835		327	99.8
		特別利益	—	1,888	1,888	144	1,866	2,010		△ 122	106.5
		計	4,402,671	626,908	5,029,579	3,089,214	2,385,711	5,474,925		△ 445,346	108.9
収益的支出	電気事業費用	営業費用	2,146,230	△ 78,215	2,068,015	666,700	1,288,978	1,955,678		112,337	94.6
		財務費用	237,694	5,059	242,753	118,615	122,523	241,138		1,615	99.3
		営業外費用	170,563	117,744	288,307	—	267,026	267,026		21,281	92.6
		特別損失	6,319	167	6,486	—	6,475	6,475		11	99.8
		計	2,560,806	44,755	2,605,561	785,315	1,685,002	2,470,317		135,244	94.8

(イ) 資本的収入及び支出（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	科 目		予 算 額			執 行 額			翌年度繰越額	予算残額	執行率
	款	項	上半期における 予 算 額	下半期における 補 正 額	計	上 半 期 上 執 行 額	下 半 期 下 執 行 額	計			
資本的収入	資本的収入	企業債	587,000	—	587,000	—	587,000	587,000		—	100.0
		負担金	4,653	—	4,653	—	2,900	2,900		1,753	62.3
		固定資産 売却代金	—	327	327	103	225	328		△ 1	100.3
		計	591,653	327	591,980	103	590,125	590,228		1,752	99.7
資本的支出	資本的支出	建設改良費	1,540,639	△ 75,403	1,465,236	927,990	477,462	1,405,452		59,784	95.9
		企業債償還金	879,556	△ 8,940	870,616	430,820	439,796	870,616		—	100.0
		計	2,420,195	△ 84,343	2,335,852	1,358,810	917,258	2,276,068		59,784	97.4

(ウ) 残高試算表 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位 円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
203,402,743,573	固 定 資 産	179,612,289,721
6,401,929,298	流 動 資 産	
	固 定 負 債	6,975,444,416
	流 動 負 債	1,319,635,835
899,068,705	繰 延 収 益	5,044,245,250
	資 本 金	12,450,727,692
	剰 余 金	2,387,233,403
	収 益 用 費	5,080,143,966
2,165,978,707		
212,869,720,283	合 計	212,869,720,283

(エ) 企業債の残高

(単位 円)

発行年度	発 行 総 額	平成 28 年 9 月 30 日 現 在 未 償 還 残 高	下半期償還額	平成 29 年 3 月 31 日 現 在 未 償 還 残 高
61	66,000,000	2,313,609	2,313,609	0
62	60,000,000	6,041,870	1,964,437	4,077,433
63	619,000,000	100,095,883	19,071,505	81,024,378
平成元年度	2,437,000,000	599,096,046	77,949,472	521,146,574
2	2,345,000,000	740,174,534	71,972,311	668,202,223
3	5,724,000,000	1,249,022,700	151,618,001	1,097,404,699
4	392,000,000	92,147,673	10,089,670	82,058,003
5	121,000,000	20,468,654	3,943,067	16,525,587
6	521,000,000	129,636,611	17,241,278	112,395,333
7	407,000,000	116,039,816	12,065,556	103,974,260
8	204,000,000	68,461,876	5,778,237	62,683,639
9	137,000,000	51,399,546	3,693,893	47,705,653
10	136,000,000	57,751,597	3,575,002	54,176,595
11	153,000,000	72,515,522	3,934,551	68,580,971
12	142,000,000	73,447,090	3,578,255	69,868,835
13	120,000,000	69,207,252	2,962,789	66,244,463
14	123,000,000	61,792,580	3,094,198	58,698,382
15	187,000,000	96,722,576	4,712,209	92,010,367
17	72,000,000	59,217,633	1,236,516	57,981,117
18	115,000,000	95,673,745	2,261,668	93,412,077
19	186,000,000	27,900,000	9,300,000	18,600,000
20	151,000,000	137,312,355	2,814,078	134,498,277
21	111,000,000	105,848,141	1,753,475	104,094,666
22	244,000,000	240,164,874	3,871,560	236,293,314
23	570,000,000	570,000,000	—	570,000,000
24	1,175,000,000	1,175,000,000	—	1,175,000,000
26	534,000,000	534,000,000	—	534,000,000
27	944,600,000	925,600,000	19,000,000	906,600,000
28	587,000,000	—	—	587,000,000
計	18,583,600,000	7,477,052,183	439,795,337	7,624,256,846

3 北海道工業用水道事業会計

(1) 平成 29 年度当初予算の状況

工業用水道事業は、産業基盤の整備の一環として工業用水道を整備し、工業用水を供給することによって道民経済の発展に資することを目的としています。

平成 29 年度は、工業用水の安定供給に努めるほか、室蘭地区工業用水道改修事業等の施設改良工事を行う予定であり、予定業務量の概要は、次のとおりです。

この会計の平成 29 年度当初予算の収入及び支出の内訳は、第 55 表のとおりです。

なお、一時借入金の限度額は、23 億 3 千万円です。

建設改良計画

石狩湾新港地域工業用水道建設事業	105,385 千円
室蘭地区工業用水道改修事業	642,400 千円
苫小牧地区工業用水道改修事業	18,438 千円
その他の	128,771 千円

給水計画

区分	室蘭地区 工業用水道	苫小牧地区 工業用水道	石狩湾新港地域 工業用水道
給水企業数	7 社	38 社	31 社
年間総給水量	39,206,440 m ³ /年	52,882,000 m ³ /年	1,123,668 m ³ /年

第 55 表 平成 29 年度当初予算の収入支出内訳

(単位 千円)

収入			支出		
区分	科目	予算額	区分	科目	予算額
収益的収入	工業用水道事業収益	2,193,994	収益的支出	工業用水道事業費用	2,072,265
	営業収益	1,977,559		営業費用	1,850,333
	営業外収益	216,435		営業外費用	221,932
資本的収入	資本的収入	1,027,541	資本的支出	資本的支出	1,773,884
	企業債	497,000		建設改良費	894,994
	補助金	427,959		企業債償還金	878,890
	他会計からの出資金	98,888			
	他会計からの長期借入金	3,694			

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額7億4,634万3千円は、過年度分損益勘定留保資金1億7,072万円、当年度分損益勘定留保資金5億1,275万4千円及び当年度資本的収支調整額6,286万9千円で補填する。

(2) 平成 28 年度下半期の業務状況

ア 業務の状況

(ア) 工業用水の総供給量は 4,678 万 9,525 m³で、予定量 4,659 万 3,846 m³に対し 19 万 5,679 m³の増となりました。

(イ) 石狩湾新港地域工業用水道建設事業

国が建設しているダムの建設費負担金を支出しました。

イ 経理の状況

(ア) 収益的収入及び支出（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(単位 千円)

区分	科 目		予 算 額			執 行 額			翌年度 繰越額	予算残額	執行率
	款	項	上半期における 予 算 額	下半期における 予 算 額	計	上 半 期 上 執 行 額	下 半 期 上 執 行 額	計			
収益的収入	工業用水道 事業収益	営業収益	1,971,158	25,152	1,996,310	1,000,422	998,250	1,998,672		△ 2,362	100.1
		営業外収益	240,651	△ 5,090	235,561	14,291	221,596	235,887		△ 326	100.1
		特別利益	—	817	817	—	82,718	82,718		△ 81,901	10124.6
		計	2,211,809	20,879	2,232,688	1,014,713	1,302,564	2,317,277		△ 84,589	103.8
収益的支出	工業用水道 事業費用	営業費用	1,836,492	△ 53,011	1,783,481	507,738	1,208,133	1,715,871		67,610	96.2
		営業外費用	221,685	38,815	260,500	102,997	151,137	254,134		6,366	97.6
		特別損失	—	3,782	3,782	—	3,735	3,735		47	98.8
		計	2,058,177	△ 10,414	2,047,763	610,735	1,363,005	1,973,740		74,023	96.4

(イ) 資本的収入及び支出（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(単位 千円)

区分	科 目		予 算 額			執 行 額			翌年度 繰越額	予算残額	執行率
	款	項	上半期における 予 算 額	下半期における 予 算 額	計	上 半 期 上 執 行 額	下 半 期 上 執 行 額	計			
資本的収入	資本的収入	企業債	489,000	—	489,000	—	376,000	376,000	113,000	—	76.9
		補助金	2,365,635	3,799	2,369,434	1,120,829	1,204,806	2,325,635	43,799	—	98.2
		負担金	16,254	△ 1,311	14,943	4,115	9,828	13,943		1,000	93.3
		他会計からの 出資金	49,556	118	49,674	—	49,674	49,674		—	100.0
		他会計からの 長期借入金	15,287	△ 560	14,727	14,377	154	14,531		196	98.7
		計	2,935,732	2,046	2,937,778	1,139,321	1,640,462	2,779,783	156,799	1,196	94.6
資本的支出	資本的支出	建設改良費	1,189,033	△ 42,396	1,146,637	836,780	41,437	878,217	235,345	33,075	76.6
		企業債償還金	2,772,645	—	2,772,645	1,383,628	1,389,017	2,772,645		—	100.0
		計	3,961,678	△ 42,396	3,919,282	2,220,408	1,430,454	3,650,862	235,345	33,075	93.2

(ウ) 残高試算表 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位 円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
42,484,916,512	固 定 資 産	21,419,887,915
2,268,917,388	流 動 資 産	
	固 定 負 債	13,333,764,790
	流 動 負 債	1,030,635,157
5,461,371,019	繰 延 収 益	10,435,051,567
	資 本 金	12,234,323,980
11,362,912,212	剰 余 金	2,842,747,952
	収 益	2,169,316,414
1,887,610,644	費 用	
63,465,727,775	合 計	63,465,727,775

(エ) 企業債の残高

(単位 円)

種 類	発行年度	発行総額	平成 28 年 9 月 30 日 現在未償還残高	下半期償還額	平成 29 年 3 月 31 日 現在未償還残高	
建設 改良 費等 の 財 源 に 充 て る た め の 企 業 債	平成4年度	910,000,000	166,303,888	29,736,988	136,566,900	
	5	584,000,000	136,803,849	17,486,736	119,317,113	
	6	876,000,000	248,275,891	26,040,121	222,235,770	
	7	1,494,000,000	403,686,950	36,892,781	366,794,169	
	8	2,571,000,000	769,424,445	58,415,461	711,008,984	
	9	3,978,000,000	1,285,785,588	72,704,827	1,213,080,761	
	10	2,987,000,000	1,285,671,864	66,507,164	1,219,164,700	
	11	715,000,000	361,380,960	16,902,300	344,478,660	
	17	238,000,000	151,922,289	4,541,069	147,381,220	
	18	501,000,000	411,502,846	10,473,465	401,029,381	
	19	598,000,000	508,590,194	12,444,508	496,145,686	
	20	1,181,000,000	896,718,704	25,770,066	870,948,638	
	21	822,000,000	698,333,803	17,317,142	681,016,661	
	22	435,000,000	368,616,543	10,745,649	357,870,894	
	23	417,000,000	401,090,541	1,843,693	399,246,848	
	25	153,000,000	153,000,000	0	153,000,000	
	26	378,000,000	371,326,879	6,706,486	364,620,393	
	27	565,000,000	565,000,000	0	565,000,000	
	28	376,000,000	376,000,000	0	376,000,000	
	小計		19,779,000,000	9,183,435,234	414,528,456	9,144,906,778
	その他の 企業債	平成18年度	17,572,000,000	878,600,000	878,600,000	—
		19	1,726,000,000	95,888,000	95,888,000	—
	小計		19,298,000,000	974,488,000	974,488,000	—
	合計		39,077,000,000	10,157,923,234	1,389,016,456	9,144,906,778

資料1 平成28年度予算の補正の状況(平成29年3月31日現在)

(1) 一般会計

(単位 千円)

区 分	当初予算額	補正予算額									合 計
	第1回 定例道議会	第2回 定例道議会		第3回 定例道議会		第4回 定例道議会	平成29年 第1回 定例道議会				
議案番号	1	1	2	33	1	36	1	61	62	77	
議決年月日	28.3.24	28.6.21	28.7.8	28.9.28	28.10.7	28.10.7	28.12.15	29.2.24	29.3.13	29.3.23	
歳											
道 税	600,298,088	-	-	-	-	-	-	-	2,194,000	-	602,492,088
地方消費税清算金	220,449,936	-	-	-	-	-	-	-	△ 27,124,770	-	193,325,166
地方譲与税	91,868,000	-	-	-	-	-	-	-	△ 4,983,000	-	86,885,000
地方特例金	1,534,000	-	-	-	-	-	-	-	11,568	-	1,545,568
地方交付税	652,200,000	-	-	-	-	55,589	4,422,758	-	1,500,000	-	658,178,347
交通安全対策特別交付金	1,309,000	-	-	-	-	-	-	-	3,000	-	1,312,000
分担金及び負担金	13,727,331	-	-	172,000	29,869	4,925,454	△ 7,205	-	△ 497,041	-	18,350,408
使用料及び手数料	24,711,875	-	-	-	-	-	△ 19,922	-	△ 138,976	-	24,552,977
国庫支出金	348,956,028	-	2,410,812	36,131,392	114,220	77,940,593	9,961,933	1,398,800	△ 24,311,704	524,763	453,126,837
財産収入	7,529,738	-	-	-	3,415	-	3,273	-	△ 737,676	-	6,798,750
寄附金	86,497	-	-	-	-	-	4,000	-	17,899	-	108,396
繰入金	46,626,294	25,908	161,760	106,153	-	-	△ 878,347	-	△ 8,324,224	-	37,717,544
諸収入	230,566,033	-	69,827	-	404,343	-	186,746	-	△ 38,682,131	-	192,544,818
道債	584,794,600	-	265,000	26,061,000	3,676,000	39,299,200	2,218,218	-	18,594,500	-	674,908,518
繰越金	-	-	-	2,572,461	1,654,731	-	117,084	-	116,289	-	4,460,565
計	2,824,657,420	25,908	2,907,399	65,043,006	5,882,578	122,220,836	16,008,538	1,398,800	△ 82,362,266	524,763	2,956,306,982
出											
議会費	3,426,190	-	-	-	-	-	23,600	-	△ 31,863	-	3,417,927
総務費	287,335,303	25,908	-	-	4,502	886,000	781,980	-	△ 11,806,192	524,763	277,752,264
総合政策費	60,333,756	-	20,546	-	60,000	32,844	1,329,591	-	150,113	-	61,926,850
環境生活費	10,748,934	-	105,541	781,462	69,000	440,000	295	-	△ 1,036,330	-	11,108,902
保健福祉費	427,937,612	-	600	457,319	49,690	-	△ 1,753,954	-	△ 15,600,611	-	411,090,656
経済費	166,642,271	-	-	-	-	192,913	△ 91,376	-	△ 35,944,735	-	130,799,073
農政費	132,758,179	-	1,646,516	3,277,220	1,897	70,695,503	△ 1,182,371	1,344,000	△ 11,959,295	-	196,581,649
水産林務費	63,670,490	-	601,569	489,192	306,000	12,350,333	△ 154,729	54,800	△ 2,541,625	-	74,776,030
建設費	237,698,112	-	-	2,995,044	4,494,000	37,126,200	1,303,503	-	9,882,142	-	293,499,001
警察費	130,581,490	-	-	-	41,194	-	△ 517,855	-	△ 1,022,593	-	129,082,236
教育費	478,522,139	-	-	54,912	-	497,043	2,403,669	-	△ 2,284,418	-	479,193,345
災害復旧費	3,140,266	-	527,800	56,985,357	72,000	-	13,088,764	-	△ 3,328,324	-	70,485,863
公債費	686,290,607	-	-	-	-	-	-	-	△ 5,799,600	-	680,491,007
諸支出金	135,372,071	-	4,827	2,500	784,295	-	777,421	-	△ 1,038,935	-	135,902,179
予備費	200,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200,000
計	2,824,657,420	25,908	2,907,399	65,043,006	5,882,578	122,220,836	16,008,538	1,398,800	△ 82,362,266	524,763	2,956,306,982

(2) 特別会計

(単位 千円)

区 分	当初予算額	補正予算額					平成29年 第 1 回 定例道議会	合 計
	第 1 回 定例道議会	第 2 回 定例道議会	第 3 回 定例道議会		弾力条項	第 4 回 定例道議会		
議 案 番 号	2~14	3	34、35	2、3、37	-	3	63~72	
議 決 年 月 日	28.3.24	28.7.8	28.9.28	28.10.7	28.11.11	28.12.15	29.3.13	
公 債 管 理	489,239,319	-	-	-	-	-	△ 2,734,294	486,505,025
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,666,917	-	-	-	-	-	-	1,666,917
中小企業近代化資金貸付事業	4,369,097	20,740	-	-	-	-	△ 496,223	3,893,614
苫小牧東部地域開発出資	153,713	-	-	170,000	-	-	170,837	494,550
石狩湾新港地域開発出資	124,818	-	-	37,542	-	-	83,899	246,259
就農支援資金貸付事業等	911,579	-	-	-	-	-	△ 26,677	884,902
沿岸漁業改善資金貸付事業	355,539	-	-	-	-	-	-	355,539
林業・木材産業改善資金貸付事業	410,977	-	-	-	-	-	-	410,977
公 共 下 水 道 事 業	1,169,644	-	-	-	-	-	△ 56	1,169,588
流 域 下 水 道 事 業	4,502,836	-	64,000	-	-	-	△ 47,378	4,519,458
道 営 住 宅 事 業	18,519,763	-	10,000	576,000	-	-	△ 1,713	19,104,050
住宅供給公社経営健全化資金貸付事業	55,733,604	-	-	-	-	-	1,000,000	56,733,604
地 方 競 馬	20,453,292	-	-	-	2,673,000	125,303	451,598	23,703,193
計	597,611,098	20,740	74,000	783,542	2,673,000	125,303	△ 1,600,007	599,687,676

(3) 企業会計

(単位 千円)

区 分	当初予算額	補正予算額	合 計
	第 1 回 定例道議会	平成29年 第 1 回 定例道議会	
議 案 番 号	15~17	73~75	
議 決 年 月 日	28.3.24	29.3.13	
病 院 事 業	19,774,030	△ 1,241,842	18,532,188
電 気 事 業	4,981,001	△ 39,588	4,941,413
工 業 用 水 道 事 業	6,019,855	△ 52,810	5,967,045
計	30,774,886	△ 1,334,240	29,440,646

資料2 平成28年度会計別予算の補正の状況(平成29年3月31日現在)

(単位 千円)

区 分	平成28年度					平成27年度 予算額 (B)	比 較		
	当初予算額	上半期における 補正額	下半期における 補正額	計 (A)	前年度からの 繰越額		合 計	(A-B)	(A/B) %
一般会計	2,824,657,420	67,976,313	63,673,249	2,956,306,982	78,272,686	3,034,579,668	2,896,138,977	60,168,005	102.1
特別会計	597,611,098	94,740	1,981,838	599,687,676	160,345	599,848,021	608,931,184	△ 9,243,508	98.5
公 債 管 理	489,239,319	—	△ 2,734,294	486,505,025	—	486,505,025	502,190,662	△ 15,685,637	96.9
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	1,666,917	—	—	1,666,917	—	1,666,917	975,803	691,114	170.8
中小企業近代化資金貸付事業	4,369,097	20,740	△ 496,223	3,893,614	—	3,893,614	2,991,310	902,304	130.2
苫小牧東部地域開発出資	153,713	—	340,837	494,550	—	494,550	496,239	△ 1,689	99.7
石狩湾新港地域開発出資	124,818	—	121,441	246,259	—	246,259	246,945	△ 686	99.7
就農支援資金貸付事業等	911,579	—	△ 26,677	884,902	—	884,902	947,883	△ 62,981	93.4
沿岸漁業改善資金貸付事業	355,539	—	—	355,539	—	355,539	355,489	50	100.0
林業・木材産業改善資金 貸付事業	410,977	—	—	410,977	—	410,977	412,482	△ 1,505	99.6
公 共 下 水 道 事 業	1,169,644	—	△ 56	1,169,588	—	1,169,588	1,208,748	△ 39,160	96.8
流 域 下 水 道 事 業	4,502,836	64,000	△ 47,378	4,519,458	18,345	4,537,803	3,643,556	875,902	124.0
道 営 住 宅 事 業	18,519,763	10,000	574,287	19,104,050	142,000	19,246,050	19,400,243	△ 296,193	98.5
住宅供給公社経営健全化資金 貸付事業	55,733,604	—	1,000,000	56,733,604	—	56,733,604	55,907,606	825,998	101.5
地 方 競 馬	20,453,292	—	3,249,901	23,703,193	—	23,703,193	20,154,218	3,548,975	117.6
企業会計	30,774,886	—	△ 1,334,240	29,440,646	—	29,440,646	36,761,514	△ 7,320,868	80.1
病 院 事 業	19,774,030	—	△ 1,241,842	18,532,188	—	18,532,188	25,938,230	△ 7,406,042	71.4
電 気 事 業	4,981,001	—	△ 39,588	4,941,413	—	4,941,413	5,039,992	△ 98,579	98.0
工 業 用 水 道 事 業	6,019,855	—	△ 52,810	5,967,045	—	5,967,045	5,783,292	183,753	103.2
合 計	3,453,043,404	68,071,053	64,320,847	3,585,435,304	78,433,031	3,663,868,335	3,541,831,675	43,603,629	101.2

資料3 都道府県別主な財政指標一覧

区 分	面積 (k m ²)		人口 (人)		経常収支比率		財政力指数		実質公債費比率		将来負担比率		ラスバイレス指数	
	(H27年度)	順位	(H28.1現在)	順位	(H27年度)	順位	(H27年度)	順位	(H27年度)	順位	(H27年度)	順位	(H27.4現在)	順位
	(%)													
北海道	83,424.31	1	5,401,210	8	96.3	37	0.42	27	20.6	47	307.7	46	95.8	46
青森県	9,645.59	8	1,338,465	31	95.7	33	0.33	36	14.4	31	139.6	9	97.8	41
岩手県	15,275.01	2	1,289,470	32	97.4	43	0.34	35	20.5	46	224.6	37	98.6	35
宮城県	7,282.22	16	2,324,466	14	96.3	37	0.60	13	14.5	33	171.8	19	99.7	24
秋田県	11,637.54	6	1,043,015	38	92.2	7	0.30	44	14.1	27	238.3	41	101.4	3
山形県	9,323.15	9	1,129,560	35	94.7	26	0.34	34	13.2	23	227.7	40	100.8	8
福島県	13,783.74	3	1,953,699	20	95.9	35	0.51	19	11.7	9	137.5	8	100.9	5
茨城県	6,097.06	24	2,970,231	11	92.7	12	0.63	8	12.1	14	224.9	38	100.7	12
栃木県	6,408.09	20	1,998,864	19	95.1	30	0.62	9	11.5	8	99.8	3	100.8	8
群馬県	6,362.28	21	2,005,320	18	95.8	34	0.60	12	12.1	14	155.2	12	101.2	4
埼玉県	3,797.75	39	7,323,413	5	94.9	27	0.77	5	12.0	11	192.9	28	100.7	12
千葉県	5,157.65	28	6,265,899	6	96.3	37	0.78	4	10.9	5	155.7	13	100.5	18
東京都	2,190.93	45	13,415,349	1	81.5	1	1.00	1	1.3	1	32.1	1	100.5	18
神奈川県	2,415.83	43	9,136,151	2	97.1	42	0.92	3	12.0	11	132.3	7	104.1	1
新潟県	12,584.10	5	2,319,435	15	92.7	12	0.44	25	15.8	40	286.5	45	100.1	20
富山県	4,247.61	33	1,080,160	37	95.3	32	0.45	24	14.7	35	253.3	44	98.3	37
石川県	4,186.09	35	1,157,042	34	94.1	20	0.47	22	14.3	29	210.6	34	100.1	20
福井県	4,190.49	34	799,220	43	93.0	15	0.38	32	14.5	33	163.4	16	99.6	27
山梨県	4,465.27	32	849,784	41	92.3	10	0.38	31	15.9	41	202.4	32	100.6	17
長野県	13,561.56	4	2,137,666	16	92.7	12	0.48	21	12.7	20	170.1	18	98.1	39
岐阜県	10,621.29	7	2,076,195	17	92.2	7	0.52	18	13.6	24	189.7	26	98.7	34
静岡県	7,777.42	13	3,770,619	10	94.9	27	0.71	7	14.0	26	223.1	36	102.7	2
愛知県	5,172.48	27	7,509,636	4	98.8	46	0.92	2	14.3	29	197.3	30	100.9	5
三重県	5,774.40	25	1,850,028	22	97.9	45	0.58	15	14.4	31	184.7	22	100.9	5
滋賀県	4,017.38	38	1,419,863	26	95.1	30	0.54	17	14.1	27	194.7	29	100.7	12
京都府	4,612.19	31	2,574,842	13	95.0	29	0.57	16	16.2	42	248.8	43	99.6	27
大阪府	1,905.14	46	8,865,502	3	99.8	47	0.75	6	19.4	45	189.0	24	100.7	12
兵庫県	8,400.96	12	5,621,087	7	96.1	36	0.62	10	16.8	44	320.6	47	98.5	36
奈良県	3,690.94	40	1,387,818	30	92.1	6	0.41	28	11.7	9	159.8	15	99.7	24
和歌山県	4,724.69	30	994,317	40	92.3	10	0.32	41	10.6	3	187.9	23	99.2	30
鳥取県	3,507.05	41	579,309	47	90.2	4	0.25	45	12.4	18	105.6	4	91.8	47
島根県	6,708.24	19	701,394	46	85.8	2	0.24	47	10.5	2	168.8	17	97.6	42
岡山県	7,114.50	17	1,933,781	21	93.2	16	0.50	20	12.1	14	197.5	31	99.7	24
広島県	8,479.45	11	2,863,211	12	94.4	23	0.59	14	14.9	37	226.2	39	99.8	22
山口県	6,112.30	23	1,419,781	27	94.1	20	0.43	26	15.2	38	206.5	33	100.7	12
徳島県	4,146.65	36	770,057	44	94.3	22	0.32	40	16.7	43	180.4	21	99.2	30
香川県	1,876.72	47	1,002,173	39	94.4	23	0.46	23	12.0	11	190.2	27	97.6	42
愛媛県	5,676.11	26	1,415,997	28	89.0	3	0.41	29	12.4	18	150.7	10	98.9	32
高知県	7,103.93	18	740,059	45	93.8	19	0.24	46	10.8	4	154.9	11	98.2	38
福岡県	4,986.40	29	5,122,448	9	96.6	40	0.62	11	13.1	22	240.0	42	100.8	8
佐賀県	2,440.68	42	842,457	42	92.2	7	0.33	37	11.2	6	106.6	5	99.6	27
長崎県	4,132.09	37	1,404,103	29	97.4	43	0.32	42	13.8	25	179.4	20	98.1	39
熊本県	7,409.35	15	1,810,343	23	94.5	25	0.39	30	12.3	17	189.0	24	100.8	8
大分県	6,340.71	22	1,183,961	33	93.6	18	0.36	33	12.7	20	157.0	14	99.8	22
宮崎県	7,735.31	14	1,128,078	36	91.3	5	0.32	39	15.5	39	126.4	6	97.3	44
鹿児島県	9,186.94	10	1,679,502	24	96.8	41	0.32	38	14.7	35	216.2	35	97.0	45
沖縄県	2,281.12	44	1,461,231	25	93.5	17	0.32	43	11.4	7	50.8	2	98.9	32
平均	-	-	-	-	93.4	-	0.47	-	12.7	-	175.6	-	99.7	-

※平均値は、財政力指数は単純平均、その他は加重平均。

用語	解 説
経常収支比率	人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源の額に占める割合。 比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。
財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。 財政力指数が高いほど普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。
実質公債費比率	地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合の過去3年間の平均値で、早期健全化基準は25%とされている。 18%以上の団体は、地方債の発行に際して許可が必要となる。
将来負担比率	地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、都道府県の早期健全化基準は400%とされている。
ラスバイレス指数	一般行政職について、地方公務員と国家公務員の給与水準を、国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴別、経験年数別に平均給与月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示したものの。